

協賛 たてやま

夏号

R7. 6. 20 発行 No. 167



この広報紙は共同募金の
助成金で発行しています。



肉じゃが	
＜材料＞	
豚肉	2kg
じゃがいも	30コ
★ 玉ねぎ	10コ
にんじん	10本
糸こんにゃく	10袋
いんげん	5パック
しょうが	10かけ(100g)
水	3L
さとう	300ml
しょうゆ	450ml
＜作り方＞	
下準備	
じゃがいも 6センチ 玉ねぎ 1.5cm幅のくし形 にんじん ま切り 糸こんにゃく 10センチに切る いんげん 2センチに切る しょうが 皮をこそげうす切り	
① 鍋に酒を入れ、アルコール分をとばす。	
② 残りの①としょうがを入れ肉をほぐして加える	
③ 肉の色が変わったら、水とを加える	



うさぎの会ぬくもり食堂

うさぎの会ぬくもり食堂は、令和4年より活動を開始し、子どもシニア食堂としてお弁当の配布から活動を始めました。ぬくもり食堂の開設を通じて、子どもと地域住民とがつながること。子どもも大人も安心して過ごすことのできる居場所ができることを目的としています。現在は、子ども食堂の実施（企画・調理・配布等）を月1回実施。費用面、場所の確保等大変なこともありますが、みなさんの力をおかりしてがんばっています。

食事は、お料理教室に通っている生涯大学のボランティアの協力を得ながら調理しており、徐々にボランティアも増えてきています。ボランティア

の中には「生きがいになっている」と活動を続けていただいている方もいます。

子供、高齢者、障害者や外国人を含む地域住民が食を通してコミュニケーションできる交流拠点になり、さらに館山市福祉協議会が情報提供をしている地域共生社会の実現に向けての役割を微力ながら担えられるのではと考え、これからもこの活動を発展させていきたいと思っています。

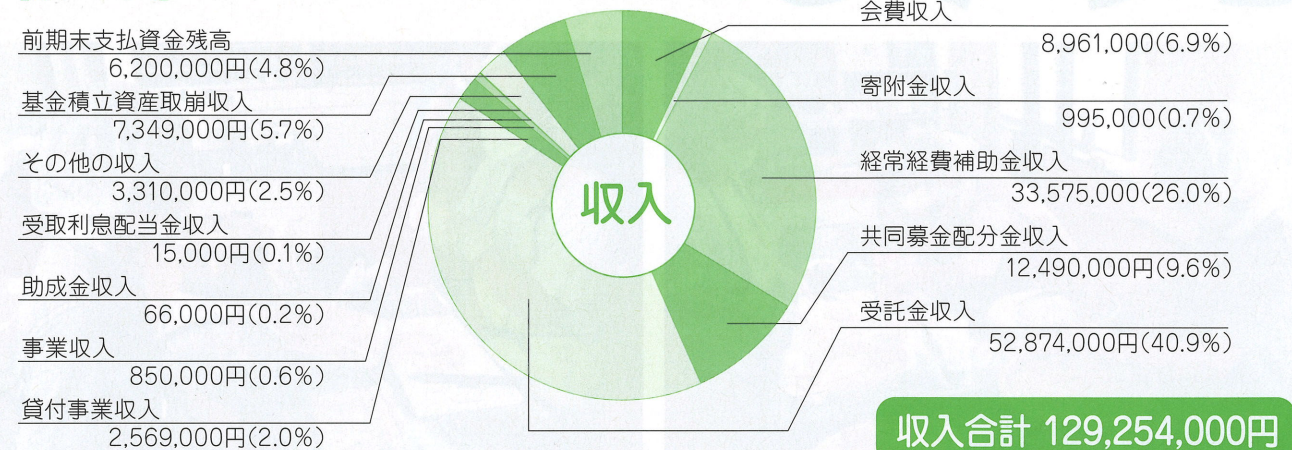
◎ボランティア活動にご興味のある方は社会福祉協議会までご連絡ください。

編集・発行／館山市社会福祉協議会
館山市北条402 市役所4号館内
TEL.23-5068 FAX.22-8805
e-mail madoguchi@fukushi-tateyama.or.jp
URL <http://www.fukushi-tateyama.or.jp>

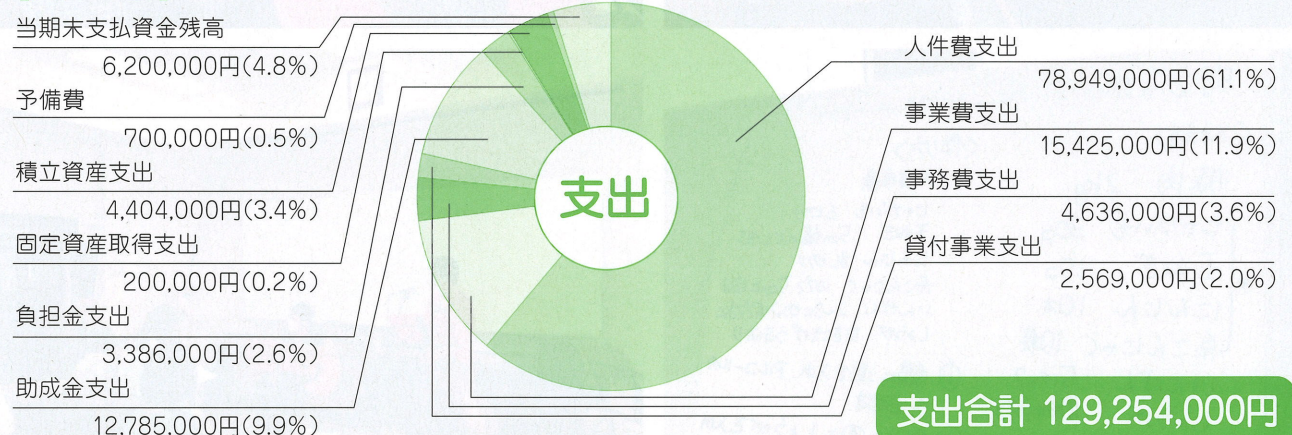
令和7年度 事業と予算のあらまし

令和7年度の予算額 129,254,000円

【収入】



【支出】



令和7年度 事業計画

法人運営事業

会員増強、会費を確保し事務体制を整え、事業の透明化を図ります。

地域福祉事業

①ボランティア活動

社協登録ボランティアや、未登録福祉関係ボランティアに対する援助指導、研修及び養成を図ります。

②災害復旧支援事業

災害に備えて援護活動に必要な体制の整備を図ります。

③共同募金運動

共同募金会との連携を強化し「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」へ協力し福祉の増進を図ります。

④貸付事業

緊急且つ一時的に生計の維持が困難な方に対して民生資金の貸付けを行い、その方の自立の促進を図ります。

⑤福祉相談

市民の皆様に対して生活上のあらゆる心配ごとの相談に応じ、地域生活の安寧に寄与します。

⑥社会福祉振興基金

自主財源の確保および地域福祉、在宅福祉の推進を図ります。

⑦受託事業

市や千葉県社会福祉協議会からの受託事業を実施します。

⑧福祉団体助成

福祉の向上に資することを目的に助成を行い、団体の福祉活動の活発化を図ります。

⑨老人福祉

在宅高齢者等への支援を行い、福祉の増進を図ります。

⑩社協支部事業

住民の自主的参加による地域福祉の推進体制の整備を図ります。

会費にご協力ください

社会福祉協議会は、皆様のご支援により地域福祉活動をおこなう民間の団体です。

社会福祉協議会では、みなさまからの会費、共同募金配分金、館山市からの補助金、受託金などにより事業を実施しています。なかでも会費は地域のみなさまと福祉活動を進めていくための大切なものです。

社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、ご支援とご協力をお願いいたします。

一般会費と特別会費は、町内会（区）を通じてお願いしております。施設団体会費は、直接ご依頼をさせていただきます。

会費の種類

種類	会費 (年額)	説明
一般会費	500円	市内にお住まいの世帯
特別会費	1口 1,000円	社協活動に賛助下さる 個人・団体・事業所
施設団体会費	3,000円	福祉関係の施設・団体

館山市ボランティア連絡協議会活動紹介

市内全域を活動範囲として83名の福祉ボランティアが活動しています。

【グループでの活動】

麦の会	毎月、市内の視覚障害者などに対し、市の広報「だん暖たてやま」や「市議会だより」等を、朗読し、CDに録音し無料で郵送する活動をしています。
給食サービス	毎月10日・25日、在宅のひとり暮らしの高齢の方や障害のある方にお弁当を配達する活動をしています。
おもちゃ図書館	毎月第2・第4水曜日に開設しているおもちゃ図書館やマザーズホームのお手伝いをする活動をしています。
おもちゃ修理	毎月第2・第4水曜日、おもちゃ図書館にある在庫のおもちゃなど、破損したおもちゃの修理をする活動をしています。
日本車椅子レクダンス協会 館山支部	施設の訪問やイベントの参加により、車椅子を使用したフォークダンスやレクダンス、社交ダンスを車椅子使用者や高齢の方々と踊るなどの活動をしています。
劇団あおい SORA	市内の施設や学校・イベント等各地域に出向いて、人形劇・紙芝居等を行っています。
ルリユールの会	図書館の破損書籍や安房地域に関する古い関連書籍の修復をしています。
うさぎの会ぬくもり食堂	子どもシニア食堂を実施し、地域の人の居場所をめざして活動しています。
南房同友会	老人福祉施設等に訪問し、演芸慰問ボランティアとして、歌謡曲・民謡・童謡・詩吟・舞踊・フラダンス・三味線等を発表する活動をしています。

【個人での活動】

・老人福祉施設等での活動 ・子育て支援 ・かにた婦人の村バザー手伝い など

◎ボランティア活動についてのお問合せは、館山市社会福祉協議会 ☎ 23-5068 まで

ご寄附のお礼

(受付順・敬称略)

温かいお気持ちをありがとうございました。
みなさまからの寄附金は、地域福祉活動に活用させていただきます。古切手や使用済みテレホンカードは、「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」へ送り、バザーや海外旅行のおみやげとして販売し、福祉施設等の活動資金となります。

寄 附 (社会福祉振興基金) R7.1.28~R7.4.25

廣全寺 41,600 円
熊澤 光子 500,000 円
伊介 勳 6,254 円
匿名 1 件 71,910 円

善意の寄附 R7.1.28~R7.4.25

▼古切手………42件

賀長昭
加藤建設(株)
(株)BOSOfood
加知方美津江
天野稔
小林肇
金丸義治
館山市地域包括支援センターことぶき
(有)西岬種苗

石井厚子
北條郵便局をご利用のみなさま
明治安田生命館山営業所
真田豊
庄もとデリバリー
菅原興業(株)
オリーブ薬局
杉本良治
デイサービスももの木
館山市水道管工事協同組合
安房舗装土木(株)
池田商事(株)
山本太一郎
ぬくもり食堂
小林孝治
ひかりの子学園
早川電工(株)
羽山信一税理士事務所
ガールスカウト千葉県第15団
伊介勳
日本車椅子レクダンス協会館山支部
匿名12件

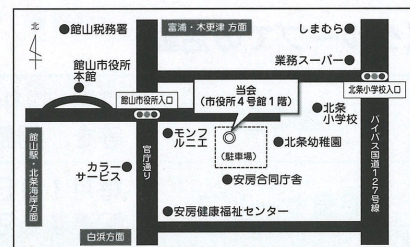
▼使用済みテレホンカード3件

山崎 善夫
匿名 2 件

※善意の寄附は、古切手及び
使用済みテレホンカードのみ
お預かりしています。

【受付・お問合せ】

館山市社会福祉協議会事務局
☎23-5068 FAX22-8805
館山市北条402(市役所4号館内)



令和7年度(第28回)

千葉県介護支援専門員実務研修受講試験の実施について

試験日時	令和7年10月12日(日)10時~
受験資格	医療・保健・福祉分野の有資格者などで一定期間以上の実務経験のある方 ※平成30年度から受験資格要件が変更されています。詳しくはお問合せください。
申込書配布期間	令和7年6月1日(日)~6月30日(月)
申込書配布場所	各市町村役所・役場 介護保険担当課、各市町村社会福祉協議会 県高齢者福祉課、各県健康福祉センター、県社会福祉協議会、県福祉人材センター
申込受付期間	令和7年6月1日(日)~6月30日(月)※最終日消印有効 簡易書留による郵送受付のみ
問合せ先	千葉県社会福祉協議会 社会福祉研修センター 〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-5 TEL 043(204)1610 / FAX 043(241)5121 ホームページ http://www.chibakenshakyo.com/

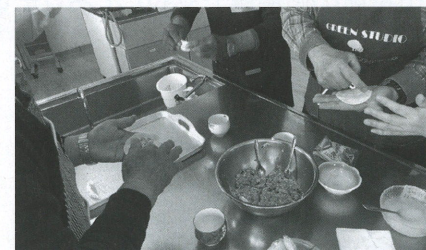
認知症サポーター養成講座

3/11、二子地区の通いの場「二子げんきかい」で、地域包括支援センターいちごによる「認知症サポーター養成講座」が開催されました。認知症の基礎知識講座だけでなく、寸劇を通して認知症の症状への対応方法をみんなで楽しく学びました。

2025年、団塊の世代が全員75歳(後期高齢者)を迎えました。1人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯など、老後を高齢者のみで過ごす世帯も増えています。「身内に迷惑をかけたくない」という思いから健康づくりに取り組んでいる高齢者も多くいます。規則正しい生活や食生活・適度な運動に加え、通いの場や趣味活動で気の合う仲間と笑い合うことや定期的に外出することも、介護・認知症予防に有効です。



男の料理教室(第3弾)



3/22、中央公民館で開催。67歳から80歳までの男性9名が参加。この日のメニューは「羽付き餃子」。丸く切った折り紙を餃子の皮に見立てて餡を包む練習をし、いい焦げ色の羽根がついた餃子ができました。「ビールが欲しいよね」と笑い合う参加者たち。人生100年時代、家事力をアップして豊かな老後を過ごしませんか?

南房総ひきこもり支援協議会

「南房総ひきこもり支援協議会」は、ひきこもり当事者とその家族をとり残さない支援体制の構築、ひきこもりの理解を深めることを目的とした団体です。NPO法人あわの風、NPO法人タナギ、地域包括支援センターなのはなを中心に、市内の各相談機関が定期的に集まり、ケース支援・周知活動・ネットワーク構築のための活動をしています。

昨年度から新たにケース検討会を実施。本人や家族の気持ちに寄り添いながら、支援者としてどのような気づきや声掛けが必要かなどの意見を出し合います。検討後には、それぞれの立場で「つながりつづけること」の大切さを感じ、日々の相談に活かしています。



福祉出張相談会 in 郵便局

館山北條郵便局: 9/1(月) 9:30 ~ 11:30
布良郵便局: 7/1(火) 9:30 ~ 11:30
館山大戸郵便局: 8/15(金) 9:30 ~ 11:30
館山船形郵便局: 8/18(火) 9:30 ~ 11:30

福祉出張相談会
(このほりが目印です)
館山市社会福祉協議会

社協のひろば

案内

心配ごと相談

財産・家族・介護など、心配ごとや悩みごとのある市民のみなさんのために、相談をお受けしています。

- ・一般相談／当会相談担当職員による相談

日時：毎週火曜日（休日の場合は翌開会日）

時間：午前 10:00 ～ 午前 12:00

午後 1:00 ～ 午後 3:00

（予約不要 当日受付順に相談）

電話（☎ 24-0294）での相談もお受けしています。

- ・専門相談／弁護士による専門相談

日時：毎月第1・第3火曜日（休日の場合は翌開会日）

時間：午後 1:00 ～ 午後 3:00（1日2件）

（予約必要 まず是一般相談を受けてください）

- ・場 所／市役所 4 号館 1 階（旧市民センター）

【問合せ】社会福祉協議会（☎ 24-0294）

入れ歯回収ボックス

社会福祉協議会では平成 20 年から「入れ歯回収ボックス」を社会福祉協議会事務局に設置しています。

【回収の対象】

入れ歯以外にも、歯にかぶせた金属（クラウン）、歯と歯をつないだブリッジなどもリサイクルできます。ただし金属のついていない入れ歯の回収はいたしておりません。その他アクセサリなどの貴金属（金・プラチナ・銀）も回収いたします。

【回収ボックス設置場所】

- ・社会福祉協議会事務局（市役所 4 号館内）



給付

シルバーカーの給付

病気等の理由で身体機能に支障がある方に、在宅生活においてシルバーカーを給付することにより介護者の負担を軽減し、利用者の自立や日常生活の安定を図ることを目的としています。

- ・対象者／市内にお住まいで在宅の 65 歳以上の方で市県民税非課税世帯、介護保険制度を利用していない方

- ・費用／無料

- ・申込／社会福祉協議会にお申込ください。

【提出書類】給付申請書（社会福祉協議会に用意してあります）および、生計同一者の市県民税非課税証明書（市役所の市民課で交付しております）

※給付は原則として 1 人 1 回限り

※すでに所有している方は対象外



つえの給付

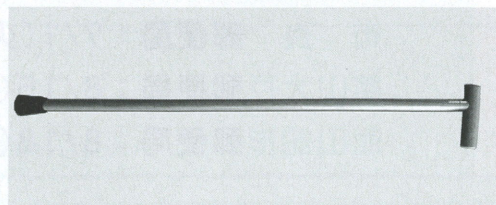
加齢や病気等で、歩くことに支障がある方に、つえを給付することにより日常生活における歩行の負担を軽減し、生活の安定を図ることを目的としています。

- ・対象者／市内にお住まいの歩行困難な 65 歳以上の方

- ・給付制限／過去 3 年間につえの給付を受けていない方

- ・費用／無料

- ・申込／各地区の民生委員にお申込ください。



貸出

福祉カーの貸出

車いすに乗ったまま移動することのできる車両を貸出することにより、介護者と利用者の負担を軽減いたします。

- ・対象者／市内にお住まいの心身障害者や高齢者とその家族、福祉活動をおこなうボランティアなどの福祉団体

- ・貸出期間／原則として 1 日（午前 8:30 ～ 午後 5:00）

- ・費用／市内利用無料、市外利用は燃料費のみ負担をお願いします。

- ・申込／社会福祉協議会（☎ 23-5068）（必ず事前にお電話にてご予約下さい）



高齢者疑似体験セットの貸出

疑似体験セットを貸出しております。疑似体験セットとは、加齢などによる肉体的機能低下や心理的变化を疑似的に体験するものです。

- ・片マヒ体験セット

脳の疾患や事故などで体の半分がマヒしてしまった場合の体験セット

- ・高齢者疑似体験セット

高齢者の体の変化やこころの変化を学習する体験セット

- ・対象者／市内の学校での福祉授業や総合学習（小学校 5 年生以上が対象）、各地区で実施する介護教室などの学習会・ボランティア団体や福祉団体など

- ・貸出期間／原則 1 週間以内
- ・費用／無料
- ・申込／社会福祉協議会（☎ 23-5068）へ電話でご確認のうえお申込みください。

福祉用具の貸出

- ・福祉用具の種類

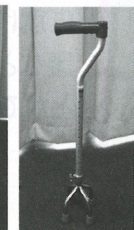
◎車いす



◎歩行器



◎四点杖



◎足こぎ車いす



足こぎ車椅子とは？

脳卒中などで歩行困難となった方が、両足でこぐことにより脊髄の歩行中枢を活性化させ機能が回復するというリハビリ効果が期待されています。

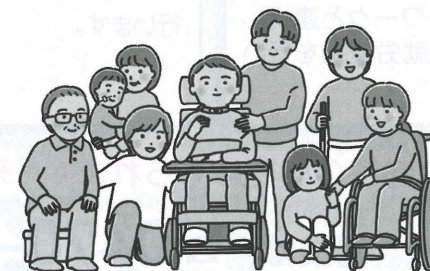
- ・対象者／市内にお住まいの在宅の方で、介護保険法または障害者総合支援法の対象とならない方（介護保険等による福祉用具の利用を優先してください）

ただし、介護保険等の対象者であっても、福祉用具を日常生活において常用するのではなく、旅行または冠婚葬祭などの行事において、その間だけ一時利用する場合は貸出可能です。

- ・貸出期間／原則 3 ヶ月以内

- ・費用／無料

- ・申込／社会福祉協議会（☎ 23-5068）へ電話でご確認のうえお申込みください。



自立相談支援のご紹介

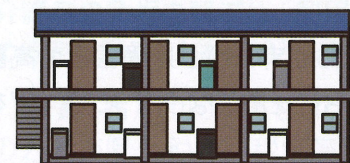
生活や仕事に心配・不安・悩みを抱えておられる方に対し、館山市社会福祉協議会では相談支援事業を行っております。次のような事などでお悩みの方はお気軽にご相談下さい。

ケース 1

仕事が長続きしない、不採用続きや退職などにより仕事に就けない、病気や介護などで収入を得ることができない・・・



ケース 2

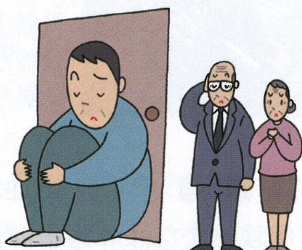


安定した収入が得られず、家賃を払う事が難しい・・・



ケース 3

外に出る機会を失ってしまった。親が高齢で親亡き後の生活が不安・・・



ケース 4

貯金ができず、臨時出費に対応できない。借入の利用が重なり返済が生活を圧迫するようになった・・・



本人の困りごとに応じて寄り添いながら
解決方法を考えていきます。

⇒ケース1

自立相談支援事業 (就労支援)

困りごとや不安を抱えて生活している方の相談を受け、自立に向けた支援を行います。ハローワークと連携しながら就労支援を行います。

⇒ケース2

住居確保給付金

離職や休業等により住居を失った方、失うおそれの高い方に、求職活動等を条件に有期で家賃相当額の支給を行います。

⇒ケース3

就労準備支援事業

直ちに一般就労する事が難しい方に個別プログラムを提供し、生活・社会・就労自立を段階的に目指します。
あなたの「働きたい気持ち」を応援していきます。

⇒ケース4

家計改善支援事業

家計の「見える化」を行い、家計管理ができるようお手伝いします。必要に応じて債務整理の専門家への紹介や貸付のあっせんなどを行います。

相談内容の秘密は守られます。来所や電話の他、訪問での相談も応じられます。

相談は ☎ 0470-24-0294 までお電話下さい。